

【アゼルバイジャン経済トピック105号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2022年9月16日

主要格付け会社によるソブリン評価

先日、主要格付け会社 Moody's がアゼルバイジャンのソブリン格付けを一段階引き上げ、Ba2/Positive から Ba1/Stable としましたので、同社公表のレポート概要を以下のとおり紹介致します(なお、これを以って、主要格付け会社 3 社(S&P、Fitch、Moody's)がそろって、投資適格まで 1 ノッチのところまで評価を引き上げたこととなります)。

Moody's は、今般の格付け引上げについて、近年確認される財政政策の改善を主要因に挙げており、新型コロナからの経済活動の回復及び資源価格高騰による財政への影響のいずれもが、予測を上回る改善であった旨説明しています。また、同社はロシアによるウクライナ侵略により一層加速することが予想されるインフレについても、アゼルバイジャン政府の積極的な物価政策の実行や中銀のマクロ経済政策によって抑制されると予測しています。

また、Moody's は、エネルギー分野に偏る経済構造及び一定の改善は見せつつも長らく懸念されている制度構造とガバナンスが、アゼルバイジャンの信用格付けにネガティブな影響を与えつつも、資源収入を基にするアセット及び長期政権は同格付けについてはポジティブな要因であるとしています。

(以上)